

栄周辺 マンション人気

公示地価 名城線沿線 上昇の波

国土交通省が19日発表した公示地価で、住宅地の上昇率全国トップ10に名を連ねた名古屋市中心部5地点のうち、4地点が商業の中心地・栄地区への利便性の高い市営地下鉄名城線沿線のマンションだった。地価上昇の波はJR名古屋駅周辺から東側の中区、東区に広がっていたが、その動きに拍車がかかった格好だ。(香取直武、沢村宣樹、本文記事1面)

全国の住宅地上昇率5位となった名古屋市中区栄5のマンションII香取直武撮影



順位	全国順位	所在地	上昇率 (%)	価格 (1平方メートルあたり)
①	5	中区栄5-1-20	26.1	72万円
②	7	中区上前津2-12-9	24.3	52万2000円
③	8	東区泉1-5-26	23.2	86万円
④	9	中区丸の内3-8-1	23.1	80万円
⑤	10	中区正木1-9-2	23.0	30万円



名古屋圏の住宅地上昇率の上位5地点

名古屋市中区栄4にある野村不動産のマンションギヤラリー「プラウドラウンジ名古屋」。20歳代の男性

※上昇率は前年比

会社員は「プラウドタワー名古屋丸の内」(同市中区錦)の1LDKの購入を決めた。「職場に近いのが決め手。将来、家族が増えた時の売却や賃貸も考えやすい」と話した。

今回、上昇率で全国5位となった中区栄5のマンションは栄地区・名城線矢場町駅の徒歩圏内で、飲食店や雑居ビルが立ち並ぶ地域

に立つ。不動産会社「服部殖産」の服部浩明社長は「県外からも開発業者が進出しており、繁華街の雰囲気を変えつつある。人気が高まり、地権者も強気だ」と地価上昇の背景を話す。

セキスイハイム東海(静岡県浜松市)が栄1で販売

中の高級マンション「タワー1・ザ・ファースト名古屋栄」は、同社が名古屋市内で初めて手がけた物件だ。昨年1月の販売開始から8割が売れており、担当者は「2027年のリニア中央新幹線開業を控えており、魅力的な地域だ」と話す。